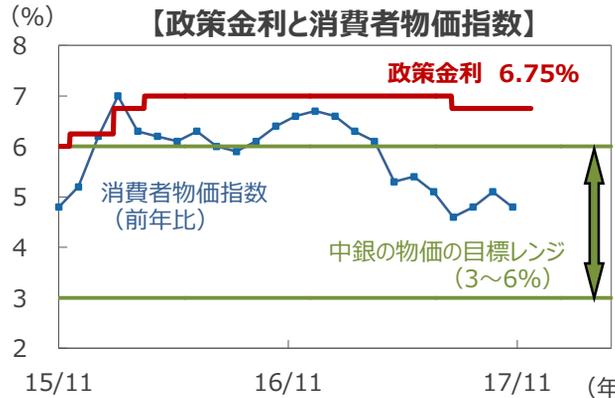


今日のトピック 南アフリカの金融政策（2017年11月）

財政見通しの悪化や政治的不透明感からランドは不安定

**ポイント1 政策金利は据え置き
据え置きは市場予想の通り**

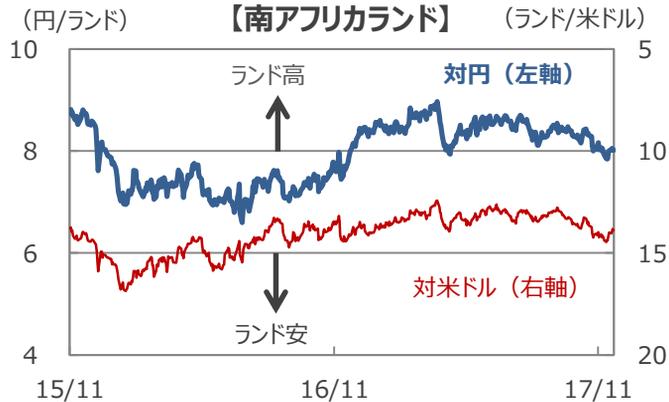
- 南アフリカ準備銀行（中央銀行、以下中銀）は23日の金融政策委員会で、政策金利（レポ金利）を6.75%に据え置きました。市場（ブルームバーグ集計）では19名のエコノミスト全員が据え置きと予想していました。



(注) 政策金利は2015年11月2日～2017年11月23日。
消費者物価指数は2015年11月～2017年10月。
(出所) Bloomberg L.P.、南アフリカ準備銀行のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 経済見通しを下方修正
物価見通しは上方修正**

- 中銀は経済見通し（実質GDP成長率）について、17年を前年比+0.7%（前回+0.6%）と上方修正した一方、18年と19年は下方修正しました。
- 物価見通しについては、17年を前年比+5.3%で据え置いた一方、18年と19年を上方修正しました。南アフリカの10月の消費者物価指数は前年同月比+4.8%と9月の同+5.1%から低下しました。しかし、原油価格の上昇や平均賃金の上昇、18年の為替レートの想定の上修正などにより、中銀は18年以降の予想を上方修正しました。



(注1) データは2015年11月2日～2017年11月23日。
(注2) 対米ドルは逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**今後の展開
ランド安を防ぐために
利上げが見込まれる**

- 10月に発表された中期財政計画では、財政赤字や政府債務の拡大が示される内容となりました。こうした財政見通しの大幅な下方修正などを受けて、大手格付け機関のS&Pグローバル・レーティングやMoody's インベスターズ・サービスは自国通貨建て長期債務（BBB-相当）の格下げを実施する可能性があります。南アフリカ国債が格下げされ投資適格から外れれば、同国債への売り圧力が高まると考えられます。
- こうした格下げリスクの高まりや、12月に予定されている与党・アフリカ民族会議（ANC）の総裁選挙への不透明感から、通貨ランドは不安定な動きが続くそうです。また、ランド安が進むようであれば、中銀は通貨防衛のために、利上げを行う可能性があります。

ここもチェック! 2017年11月20日 **Moody'sがインドを格上げ**
2017年11月17日 **原油価格の動向 (2017年11月)**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。